

JACET関西支部

2022年度第1回支部講演会

The JACET Kansai Chapter 1st Lecture Meeting
of the 2022 Academic Year



- 2022年度第1回支部講演会を下記の通り開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。
- Fee: JACET会員・非会員共に参加費無料です。非会員のみ 事前申し込みが必要です。Free for both JACET members and non-members. Need to pre-register for only non-members.
- Access: Zoomにてオンラインで開催予定です。アクセス情報に関して、詳しくはJACET関西支部ウェブサイト([http:// www.jacet-kansai.org/](http://www.jacet-kansai.org/))をご参照ください。

Date: 2022年6月18日 (土) 15:30-17:00

Saturday, June 18, 2022, 15:30-17:00

Venue: オンライン (Zoom)

Online (Zoom)

**Title: 機械翻訳を英語教育に活用するために～
TILTからMTILTへ～**

MTILT: Machine Translation in Language
Teaching

Lecturer: 山田 優 先生 (立教大学)

Professor Masaru Yamada
(Rikkyo University)

講師

山田 優先生

東京都出身。米国ウエストバージニア大学大学院修士（言語学）。立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科 博士（異文化コミュニケーション学／翻訳通訳学）。フォードモーター社内通訳者、産業翻訳者を経て、株式会社 翻訳ラボを設立。今は、翻訳通訳研究に没頭中。研究の関心は、通訳翻訳研究全般、訳出プロセス、翻訳テクノロジー論（機械翻訳、ポストエディット含む）、メディア翻訳、TILT（翻訳の外国語教育への応用）。日本通訳翻訳学会理事歴任。八楽株式会社 チーフ・エバンジェリスト。一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会（AAMT）理事。

講演概要

AIの発展により翻訳精度が飛躍的に向上した機械翻訳（MT=Machine Translation）を、英語教育に応用・活用しようとする動きが高まってきている。ライティング学習支援を中心に、すでにMTの活用とその学習効果に関する実践報告も数多く出ている。しかし、実際にMTをクラスルームで活用するとなると、教える側としては不安も多いだろう。

このような状況に鑑み、本発表では、MTを英語教育に活用するために、1) 教員として心得ておくべき事をまとめ共有し、2) 先行研究とこれまでの発表者の実践をベースに、効果的かつ実用的なMTの英語学習のための活用方法を提案する。1) については、MTの技術的仕組み、実力、翻訳エラーの問題、サービス利用の際の著作権・倫理の問題を再確認する。2) については、関連先行研究と実践報告の内容を踏まえ、翻訳の外国語教育への応用（TILT=Translation in Language Teaching）の概念をベースに、MTを活用したMTILT（MT+TILT）を提案する。

▸ 使用言語は日本語です。This lecture will be given in Japanese.